

報道関係者各位

次世代白内障手術装置
術中の眼内圧変動を減少させる独自の灌流制御システムを搭載
CENTURION® VISION SYSTEM 7月22日発売
～安全性と効率性を高次元で融合し、手術医と患者様に最良の結果を提供～

日本アルコン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松村誠一郎)は、白内障手術装置「CENTURION® VISION SYSTEM」を7月22日(火)より発売します。当製品は、手術中に変化する灌流圧を自動的かつ継続的にモニタリングする業界初のシステムを搭載し、眼内圧の変動による術中のリスクを低減させることで、手術の安全性と効率性の向上に寄与します。

白内障手術は、濁って硬くなった水晶体を砕いて吸引し、そこへ眼内レンズを挿入します。当製品の基本的な機能は下記の通りです。

- ① 超音波の振動をチップに伝え、硬くなった水晶体を砕く
- ② 同時に、チップ先端の筒状の穴から、砕いた水晶体を吸引する
- ③ ①②の工程中、常に眼内へ灌流液を注入し、眼内圧を保つ



特徴1: 業界初、眼内圧変動を減少させる灌流制御システム「Active Fluidics™テクノロジー」搭載
従来は灌流液を注入するボトルを高い位置に吊るし、ボトルを上下させて重力を変えることで手術中の眼内圧をコントロールしていましたが、術中に瞬時に灌流液の量や灌流圧を変化させることはできませんでした。

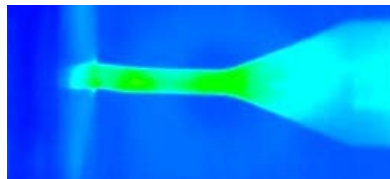
Active Fluidics™ テクノロジーは、灌流バッグを本体内部の2枚のプレート間に設置し、手術装置本体が検知した流体の変化に応じて、灌流バッグを加圧減圧することで、灌流圧を調整し、手術中の眼内空間を安定的に確保します。これにより、手術中の眼内圧変動が低減され、手術医が設定した適切な眼内圧を維持することで、手術の安全性向上に寄与します。

特徴2: Balanced Energy™テクノロジーにより、水晶体処理効率が向上

アルコンはソフトウェア、チップなどのデザインを新たに改良し、独自の超音波発振機能であるOZil®、トーションアルフェイコ(横方向の超音波発振)のパフォーマンスを向上させることに成功しました。これにより、水晶体破碎効率が向上すると共に、切開創付近の摩擦による温度上昇を抑え、創口熱傷の発生リスクも低減します。



手術効率を向上させる改良されたチップ。



チップとスリーブは熱による影響を最小限に抑えるよう設計されています。



【販売名】 白内障手術装置
CENTURION® VISION SYSTEM

当製品を既に上市した米国の手術医 Kerry Solomon 氏からは、「CENTURION[®] VISION SYSTEMでは、極小切開においても、従来より高い吸引液量と吸引圧が設定できる。また、使用する超音波量と灌流量は最小化され安定した眼内空間の中で角膜への侵襲を最小限に抑え、効率的な手術が可能になった」というコメントを頂戴しています。

特徴 3: 他システムとプラットフォームを共有、将来にわたって更なる術後結果の向上を目指す Applied Integration[™]

「CENTURION[®] VISION SYSTEM」は将来的なアップグレードにも対応可能なプラットフォームです。

Applied Integration[™]を採用したことで、手術診断機や顕微鏡を始めとする複数の白内障手術関連テクノロジーと新たなシステムをシームレスに統合し、更に快適な白内障手術システムの構築に貢献します。

弊社代表取締役社長、松村誠一郎は次のようにコメントしています。「2003年に発売した白内障手術装置『インフィニティ[®] ビジョン システム』は、眼科医の皆様より高い評価をいただき、発売以来10年以上にわたってシェア No.1*を維持してまいりました。今般発売する新製品は、さらにその性能を進化させた後継機として位置付けており、眼科医の皆様にご満足いただけるものと確信しております。

今後日本の高齢化が進むにつれ、白内障治療の分野では、単に視力の回復のみならず術後の見え方(QOV)に対するニーズもさらに高まるものと予測されます。アルコンは白内障手術領域におけるイノベーションリーダーとして、高度な手術を行う眼科医の皆様を新たなテクノロジーでサポートし、患者様の QOV 向上に貢献してまいります」

《白内障について》

白内障では、水晶体が濁り、眼球壁の最内層にある網膜に光が届きづらくなるといった症状が起こります。現在、世界における失明原因は、白内障が51%と全体の半数以上を占めており、世界全体で2000万人もの人々が白内障が原因で失明していると報告されています¹。日本では眼科医療の発達により、白内障による失明は3.8%、失明原因の第6位にとどまっています。日本の年間の白内障手術件数はおよそ130万件²と、すべての外科手術件数の中でも最も多いといわれています。白内障は、80歳代で100%罹患する³とされており、高齢化社会が進む日本では、今後も患者数の増加が見込まれます。白内障や眼内レンズに関する詳細は、白内障情報室 <http://www.cataract-iol.jp/> をご覧ください。

【製品特徴】 Active Fluidics[®]テクノロジー、Balanced Energy[™]テクノロジー、Applied Integration[™]テクノロジーという三つの特徴的なテクノロジーにより白内障手術の安全性と効率性を高めます。

【承認番号】 22600BZX00220000

【販売名】 白内障手術装置 CENTURION[®] VISION SYSTEM

【製品概要】

製品コード	EANコード	製品名	最小出荷単位	標準価格 (税抜き,円)
8065751763	0380657517633	CENTURION [®] Vision System	1式	¥25,800,000

References

* 日本アルコン調べ

1. 世界保健機関(WHO)
2. 日本眼科医療機器協会 2014年 Annual Report
3. 日本における初期混濁も含めた水晶体混濁有所見率 出典: 日本白内障学会 HP

About Alcon:

日本アルコン株式会社は、ノバルティスグループのアイケア事業部門を担うアルコンの日本法人です。アイケアにおけるリーディングカンパニーとして、サージカル製品から医薬品、ビジョンケア製品に至るまで、アイケア領域における幅広い製品を提供しています。

世界に 25,000 人のスタッフを有するアルコンは、米国テキサス州フォートワースに本拠を置き、世界 75 カ国で事業を展開、180 カ国の市場へ製品を提供しています。アイケアにおけるグローバルリーダーとして、よりよい視界の提供を通じて、人々の生活の改善に寄与することを使命としています。眼疾患などに対する革新的な治療法を開発するため、アルコンでは今後 5 年間で 50 億米ドルを研究開発に投資していきます。2013 年度、アルコンの世界における売上高（試算値）はおよそ 105 億米ドルでした。詳細は www.alcon.com をご覧ください

###

取材に関するお問い合わせ先:

日本アルコン株式会社 広報部 柏ノ本多 03-3588-3218 jp.communication@alcon.com

製品に関するお問い合わせ先:

日本アルコンメディカル統括部 学術情報部 0120-825-266 受付時間 9:00～17:30
(土、日、祝日・休日を除く)